

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 20日

事業所名: わくわくクラブジュニア(新越谷校)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・大きな運動室も活用し広いスペースで思い切り動けるようにしている	
	2 職員の配置数は適切である	7	0	・法令に従って配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	・フラットな入口 ・座る場所や立つ場所を分かりやすく表示	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	・マットを敷き安全に運動ができるよう配慮 ・毎日清掃と消毒をおこなっている	・手洗い場やトイレで大きな音があるため苦手な子がいるので対策を検討していく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	・月に一度の会議で全員が参画している	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	・毎年行う評価表への意見を参考に改善を行っている	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・ホームページで公開するとともに、内容をプリントして配布している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	・おこなっていない	・外部の第三者評価は行っていないが保護者と事業者自己評価表を生かし業務改善につなげている
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	・社内研修の充実を図っている	・支援の様子を見て指導やアドバイスをし合う機会を今後も続けていく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・契約時と半年ごとの面談でセサメントをおこなっている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・教室独自のツールを使用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	・ガイドラインに基づいた項目から支援をしている ・個別の目標に合わせた課題を提供している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・毎回確認をしながら支援内容をきめている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・月に一度の会議で検討しチームで立案している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・季節に合わせた活動や発達度合いに合わせ流動的に決定している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	・個別にそれぞれの課題にアプローチする時間と、お友だちと一緒に活動する時間を組み合わせている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	7	0	・毎回打ち合わせを行っている	
	18	7	0	・毎回振り返りを行っている	
	19	7	0	・サービス提供票や日報に記載し、共有している	
	20	7	0	・半年ごとのモニタリングを実施し、計画の更新をおこなっている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	6	1	・児童発達支援管理責任者が参加	
	22	6	1	・関係する機関と連携している	
	23	3	0	・現時点で対象となる利用者なし	
	24	3	0	・現時点で対象となる利用者なし	
	25	6	1	・保護者の希望に応じて在籍園と情報共有や連携を行っている	
	26	4	1	・保護者の希望に応じてサポート手帳を活用し学校への情報共有を行っている	
	27	7	0	・市や県の発達センターが実施している研修を受講している	
	28	2	5		
	29	6	1	・市の連絡会に参加している	
	30	7	0	・支援後に当日の様子をフィードバックしている ・適宜相談の場を作り共通理解を図っている	
31	3	3	・わくわくカフェの実施や保護者からの相談には随時対応している	・ペアレント・トレーニングの開催等も今後検討していきたい	
	32	7	0	・契約時に行っている	
	33	7	0	・説明をおこない同意を得て発行をしている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・教室だよりやブログの更新	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	・わくわくカフェ、懇談会 保護者セミナーの実施	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	・普段から声かけをして必要に応じ個別に相談を受けている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・教室だよりやブログの更新	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・十分注意して取り扱っている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・コミュニケーションをとり情報伝達もおこなっている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	・現在実施していない	・今後検討したい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	・マニュアルを策定し事業所内では訓練を実施している	・今後利用者也参加しての訓練を検討していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・年に3回おこなっている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	・契約時に確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	・食品の提供はない	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・月に一度の会議で共有している	・資料の保管場所周知や、定期的な確認の促しをおこなっていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	・年に1回研修を全員で受講している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	・契約時に説明はするが基本的に身体拘束は行わない	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。